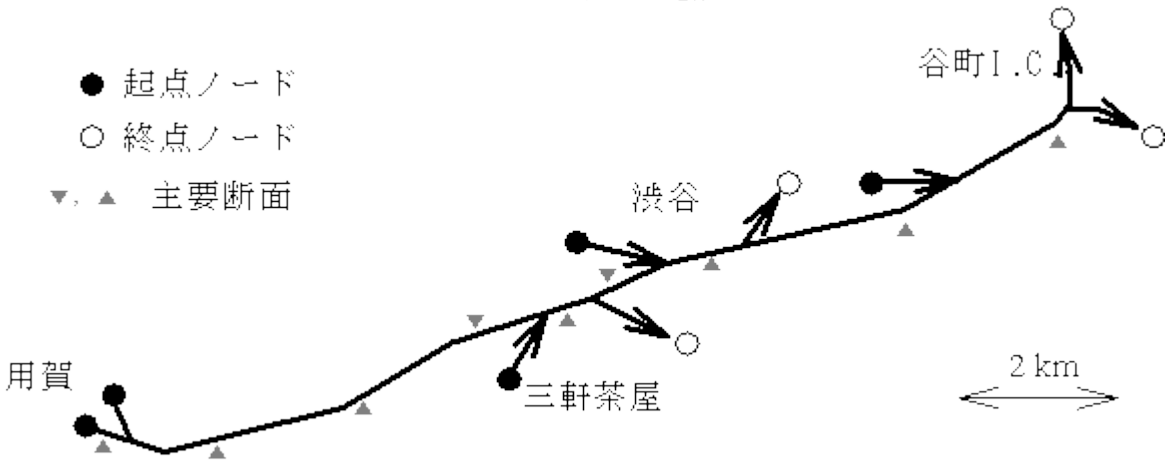
シミュレーションモデル適用事例シート

	大分類	交通施策評価	小分類	情報提供	シミュレーションモデル名	SOUND-express

概要	適用事例名	交通シミュレーションモデルを用いたオンライン予測情報の首都高 3 号線での提供
	目的・概要	観測された交通状況に基づいて，交通シミュレーションを用いて 1 時間程度先までの交通状況を予測する．この結果を情報としてドライバーに提供すれば，より高精度の情報提供が可能になると考えられる．本研究では，オンラインでの情報提供ということを前提とし，現在提供されている情報等とその情報の精度を比較することで，システム導入の可能性を検討するものである．
	本事例におけるモデル適用上の特徴	

対象範囲及びネットワーク	対象範囲	首都高速道路 3 号線上りネットワーク			対象時間帯	平日午前 6 時-9 時		
	評価対象時期	平成 5 年度						
	対象道路網	全線						
	ネットワーク規模	ノード数	24	リンク数	23	起終点ノード数	5+4	総トリップ数	約 8000 台
		一般街路ネットワーク		交差点数		信号交差点数		道路区間数	
		自専道ネットワーク		分岐部数	3	出入口数	9	道路区間数	15
	特記事項								

（ネットワークの概略図面を添付）



入力データ	道路　データ	単路部	リンク長，QK 関係
		交差点部	
		合流部	合流比
	信号　制御	設定パラメータ	
		作成方法	
	交通需要	設定単位	発生交通量
		作成方法	感知器データより作成
		空間単位	オンランプ
		時間単位	5 分単位，6-10 時
		車両属性区分	1 車種
	その他		
モデル設定項目	スキャン方式		periodic scan 方式,1 秒／1スキャン
	パケットサイズ		1 台／パケット
	経路選択原理		観測された分流比率を用いて分岐
	特記事項		
再現性検証	キャリブレーション	パラメータ	なし
		方法	
	検証方法		対象区間の旅行時間（5 分ごと）を観測値と比較
	検証用データ取得方法		AVI データ

出力データ	対象区間における旅行時間 （目的とする評価に用いたデータのみ記述）

記入者	所属機関・部署	高知工科大学・社会システム工学科						
	電話	0887-57-2406	FAX	0887-57-2420				